

広報

ただみ

8
2022 月号

No. 627
令和4年8月10日



今月の表紙

【仕事着のファッションショー開催】

国重要有形民俗文化財の只見の仕事着をモチーフとしてリメイクやアレンジをした仕事着のファッションショーが、ただみ・モノとくらしのミュージアム一般公開に合わせ、明和自治振興会の主催で行われました。「SDGsがいっぱい!! 昔の人の知恵は未来への希望!!」をテーマに仕事着を着た明和小児童が、レッドカーペットの上を堂々と歩き、素敵な仕事着を披露しました。（関連記事：P2-3）

《特集》

ただみ・モノとくらしの

ミュージアムが開館しました! …… 2~3

《News&flash》 …………… 4~8

《町の話》 …………… 9~13

《別冊》

「U・Iターン情報」

「空き家管理」

「ふるさと納税」



只見ユネスコエコパーク

昔の人の知恵は未来への希望!

ただみ・モノとくらしのミュージアムが 開館しました!



ただみ・モノとくらしの ミュージアムが開館

ただみ・モノとくらしのミュージアムの開館式が7月22日に行われ、来賓の方や関係者など約40人が参加しました。

式典では、渡部町長が「オープンになげることができたのも、民具収集・整理に携わっていただいた町民の皆様のお熱い思いとご協力のおかげです」と感謝を述べました。その後、スタッフ紹介が行われ、最後に開館を記念してテープカットが行われました。

ただみ・モノとくらしのミュージアムは、博物館法に基づく公立博物館として設置され、専門の人文系学芸員が勤務しています。また、入館料は無料となっていますので、ぜひご来館ください。

収藏品・展示品は町民の 皆さんの思いの結晶

収蔵・展示されている民具のほとんどが国重要有形民俗文化財に指定されており、その数は2,333点になります。

これらの民具は、昭和40年代から町民の皆さんの手によって収集・記録・整理が行われ、国指定重要有形民俗文化財に指定されました。ただみ・モノとくらしのミュージアムは、これまで民具保存活用運動に携わってきた皆さんの思いの結晶なのです。

スタッフ紹介



管理員
目黒仁也



学芸員補
渡部めい



学芸員
原永円香



主任学芸員
渡部賢史

館長より ご挨拶



館長
久野俊彦

「会津只見の正倉院」

このミュージアムは、町民が収藏品を集めて建てた「町民立博物館」です。民具を始め、郷土の文化遺産や名品を見いだし、みんなで鑑賞して保存し、未来に伝えていく「会津只見の正倉院」です。文化遺産は郷土への愛着と豊かな心をもたらすでしょう。名品が集まり、人々が集う場にしていきます。ご協力をお願い致します。



本館 1 階

受付の他、郷土資料・民俗・民具の図書が収蔵されている図書室、資料の調査・研究、文化財学習を行う文化財室があります。

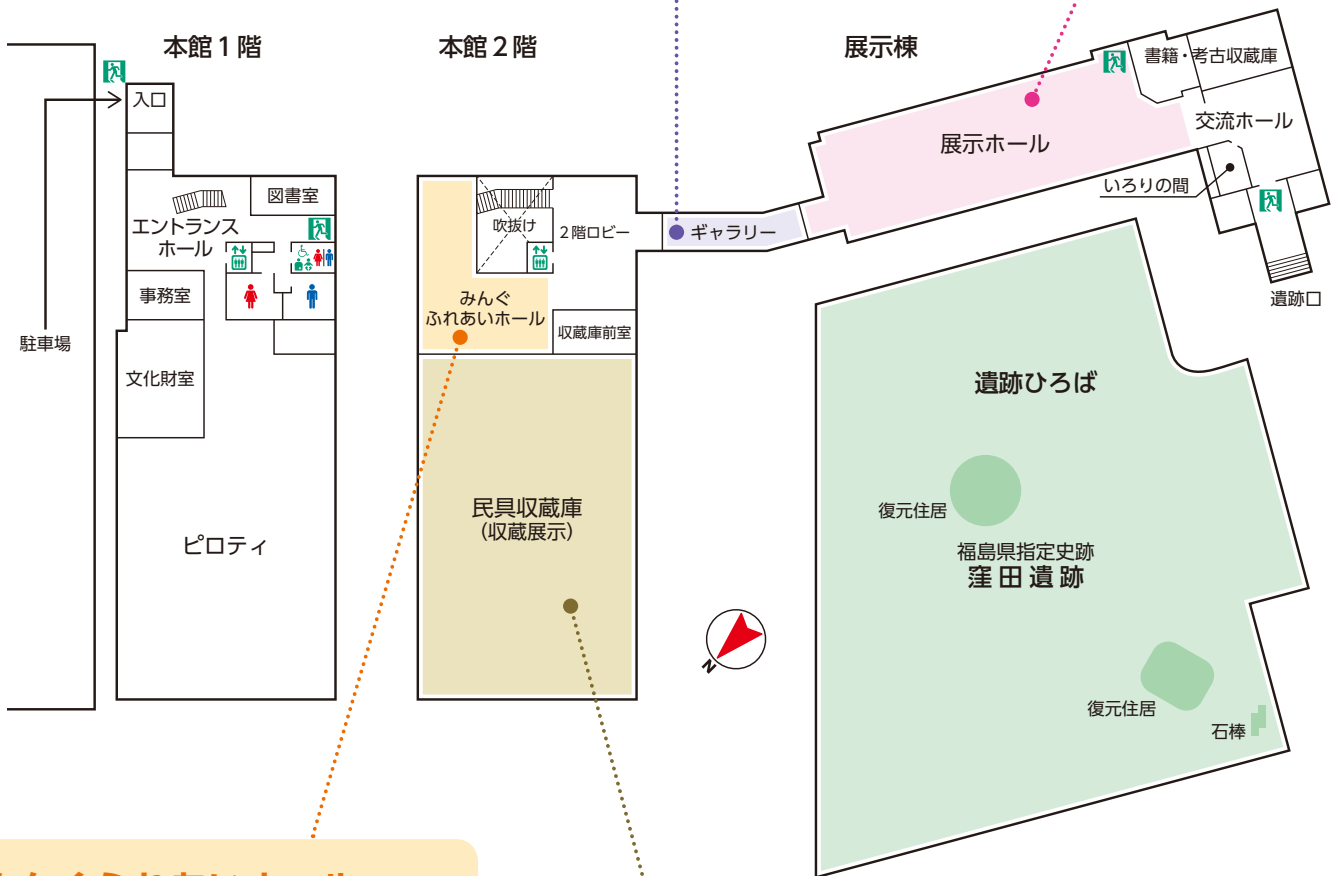
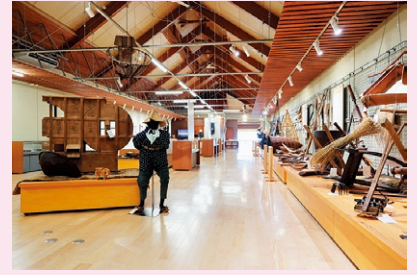
ギャラリー

絵画・写真などの展示を行います。現在は、「只見町民による民具整理のあゆみ」をテーマにパネルや民具整理に使用した道具が展示されています。



展示ホール

開館記念企画展では、収蔵品を使用していた場面ごとに章立てし、展示しています。今後さまざまな企画展を開催します。



みんぐふれあいホール

民具に実際に触れて動かすことができる「民具にふれる」コーナー、ツル細工やワラ細工を体験できる「ツルやワラを編む」コーナー、仕事着を着て記念撮影ができる「仕事着を着る」コーナーがあります。



民具収蔵庫

国指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」2,333点が収蔵されています。「見る収蔵庫」として、職員立ち合いで見学することができます。



ただみ・モノとくらしのミュージアム

〒968-0602 南会津郡只見町大倉字窪田30 TEL: 0241-86-2175

入館料 無料

開館時間 9:30~17:00(最終入館16:30)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日

只見町 沼ノ平地域総合学術調査報告会

町の事業として2017年度から2020年度にかけて実施した沼ノ平の学術調査の報告会が、7月2日に只見振興センターで開催されました。

報告会で発表された内容の概要を紹介します。

報告①

調査の目的と沼ノ平の概要

報告者：目黒康弘（只見町役場）

只見ユネスコエコパーク域内の北西部に存在する沼ノ平は、浅草岳の北東部のなだらかな中間斜面の地すべり地帯に位置し、多くの湖沼群が存在するとともに、周囲には成熟したブナ林が成立している。このような自然度の高い環境にあることや地すべり地帯という不安定で特殊な立地環境にあることから、そうした環境に依存した特異な生物種群が生息、生育していると報告があり、自然環境・生物多様性を保護・保全する上で重要な地域と考えられていた。そこで、沼ノ平の自然環境、生物相および生態系の実態について明らかにするとともに、沼ノ平の適切な保護・保全・利用の在り方について検討するため、2017年から4カ年計画で沼ノ平の総合的な学術調査に着手した。



▲沼ノ平地域全景

報告②

時系列空中写真を用いた沼ノ平における地表面変化の把握

報告者：村上拓彦（新潟大学 農学部）



沼ノ平における地表面変化の有無について、空中写真を用いて1947年から2014年の67年間に発生した変化を解析した結果、多くの沼の形が変化し、移動している傾向が読み取れた。ブナの樹冠も、1976年から2014年の38年間に6.3～18.8mの移動があり、沼ノ平地域全体が東の方向に移動していることが確認された。

これらの結果から、沼ノ平の地表面は絶えず変化していることが確認できた。

◀小三本沢沿いから沼ノ平のドローン撮影に挑む

報告③

沼ノ平地域の古環境—花粉分析に基づいて—

報告者：志知幸治（森林総合研究所 四国支所）

沼ノ平地域では地すべりによって複雑な地形上にブナを中心として多様な植生が成立している。こうした植生と過去の環境変化の変遷を明らかにするために、湿地から採取した堆積物の年代測定を行った結果、最下部の粘土の堆積年代は約1万900年前と計算され、湿地形成の要因となった地すべりは少なくともそれ以前に起きたことが明らかになった。花粉分析の結果、沼ノ平地域では過去1万年間以上に渡ってブナが優占していたことが明らかになり、ブナの割合の増加とともに、湿地性のサワグルミなどからトチノキ、コナラ垂属へと植生が変化していたことが分かった。これにより沼ノ平地域では次第に斜面が安定化し、土壌が発達していったことが示唆され、人為の影響は一貫して小さかったことが推測された。



▲採土器による湿原採石物の採取

報告④

沼ノ平地域の植生とその多様性

報告者：崎尾均 (Botanical Academy・新潟大学佐渡自然共生科学センター)

沼ノ平地域では地すべりにより形成された多様な地形に対応した特異的な植生の成立や遷移が起こっている可能性がある。本調査ではこの地域における植生を分類し、それらの成立と地形変動との関係の解明を目的とした。沼ノ平地域に92箇所の調査プロットを設置し、植生及び環境因子を調査・解析した結果、この地域の植生は8タイプ(ブナ・ミズナラ・サワグルミ・ヒメヤシャブシ・ヌマガヤ・ヤチダモ・ミヤマカワラハンノキ・ヤナギ類)に区分された。また、各植生を比較する事により、地形変動が多様性を増加させ、各植物種に対して好適な環境の形成に寄与していることが推測された。また今回の調査では沼ノ平という町のわずか0.4%の面積に種子植物の34.7%、シダ植物の51.1%が分布していることが分かり、今まで記載の無かった107種のコケ植物についても確認することができた。



▲作業道でのサンプリング



▲民宿で植物標本作製

報告⑤

沼ノ平地域の哺乳類相

報告者：石川貴大 (只見町役場)

2018年から2020年までの調査で、ヤマネ、アカネズミ、ニホンノウサギ、ヒミズ、ツキノワグマ、ホンドタヌキ、ホンドテン、ニホンアナグマ、ハクビシン、ニホンジカ、ニホンカモシカの5目10科11種の哺乳類の生息が確認された。既存文献によるコウモリ類の生息記録を含めれば、沼ノ平地域には6目11科14種の哺乳類が生息していることが考えられ、今後さらに、モグラ類、ネズミ類及びコウモリ類の調査によってさらに確認できる種は増える可能性がある。

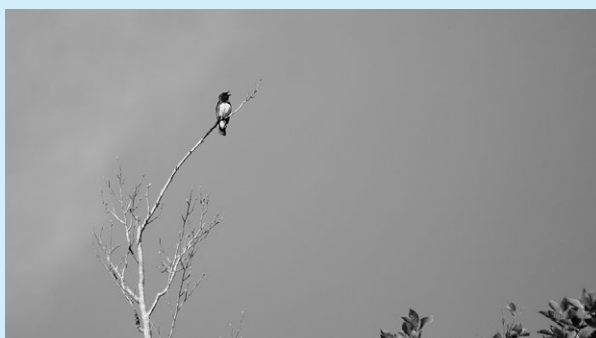
赤外線センサーカメラで撮影されたツキノワグマ▶



報告⑥

沼ノ平地域の鳥類相

報告者：遠藤菜緒子 (只見町教育委員会)



▲枝上でさえずるオオルリ

2018年から2020年までの調査で、27科45種が確認された。沼ノ平に点在する湖沼ではカモ目やカワウ、溪流沿いではミソサザイ、カワガラス、キセキレイといった水辺の鳥が見られた。調査の結果、只見町を代表するブナ広葉樹林帯には地形や植生に関して多様な環境が含まれていることが分かり、それによって移動能力の高い鳥類であっても、生息種の多様性を生み出していることが明らかとなった。しかし、今回の調査ではワシタカ類を対象とした行動圏調査や夜行性鳥類調査が不十分だったこと、繁殖期の調査に限定したことから、本調査地の鳥類相を十分に明らかにするためにはさらなる調査が必要と考えられる。

報告⑦

沼ノ平地域の爬虫類・両生類相

報告者：吉川夏彦（国立科学博物館）

2019年から2021年にかけて爬虫類・両生類の調査で、両生類12種、爬虫類4種を確認した。両生類では、沼ノ平沼群でモリアオガエルやクロサンショウウオなど止水域に生息する種が多く確認され、同地域が重要な繁殖環境となっていることが示唆された。また、人里周辺の水田や池沼にも広く分布するツチガエルが沼ノ平地域で広く確認されたことも特徴的であった。一方でハコネサンショウウオなどは小三本沢本流およびその右岸側からの溪流といった流水域が重要な生息環境となっていることが示唆された。このように、山地内に止水と流水の両方の環境が隣接して存在することが、同地域が町内でも両生類の高い種多様性をもつ地域であることの要因の一つと考えられる。一方、爬虫類の確認種数は4種にとどまった。トカゲ類2種に関しては沼ノ平地域での分布状況がおおよそ把握できたと考えられるものの、ヘビ類の生息確認状況に課題を残した。

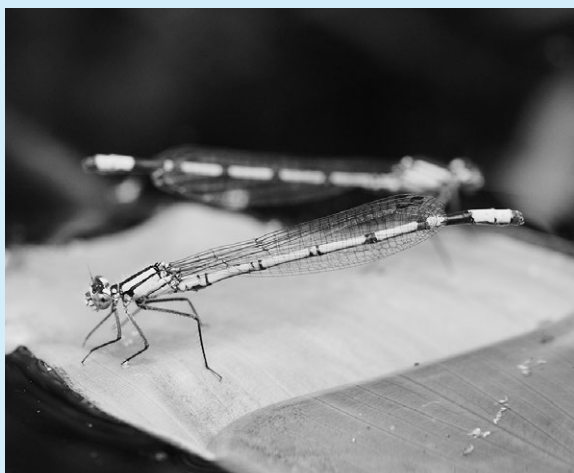


▲タダミハコネサンショウウオのメス

報告⑧

沼ノ平地域の昆虫相

報告者：緒勝祐太郎（日本昆虫学会）



▲スサキ沼に生息するルリイトンボ（オス）

2017年から2020年にかけて昆虫捕獲用トラップによる現地調査を実施した結果、沼ノ平地域からは7目56科491種が記録された。過去の文献記録を含めると、沼ノ平地域からは7目56科494種の昆虫類が確認された。また、沼ノ平地域の昆虫目録を作成し、環境省および福島県のレッドリストの掲載種やこの地域に特徴的な種（ルリイトンボ、ゲンゴロウ、エゾゲンゴロウモドキ、キイロマツモムシ、キタヒメアメンボなど）を示した。さらに池沼で確認された水生昆虫類について、過去の調査結果と比較し、その生息状況の変化を考察した。

調査の結果、自然度の高いブナ林を代表する昆虫が生息していることが分かり、本州あるいは福島県初記録の昆虫も確認された。また水生昆虫にとっても地すべり由来の池沼群は重要な環境であり、特にスサキ沼の多様性が高いことが確認された。

報告⑨

沼ノ平地域の成熟ブナ林における地表性オサムシ類の分布とその規定要因

報告者：大脇淳（桜美林大学）

沼ノ平地域の人の影響がほとんどないブナ天然林において、倒木や地すべりのような自然攪乱等が地表性ゴミムシ群集（オサムシ科）の多様性に及ぼす影響を評価するための調査を行った。沼ノ平地域に合計14プロットを設置し、2017年から2019年まで季節を変えながらトラップにより捕獲された種と個体数を記録した。調査の結果、27種360個体のゴミムシ類が採集され、土壌の攪乱を伴う地すべりギャップや湧水由来の細流が生み出すブナ林内の異質性はゴミムシの多様性を高めていたことが分かった。天然林でゴミムシの多様性を維持するためには、様々な自然攪乱や林内の多様な環境を維持する必要がある。



▲地表性ゴミムシ

沼ノ平地域の沼辺、湿地で得られた甲虫類

報告者：榎原寛（日本甲虫学会）、緒勝祐太郎（日本昆虫学会）

2018年から2020年にかけて実施された昆虫相調査で捕獲された昆虫のうち、主に沼辺や湿地で得られた甲虫の一部の種について調べた。それらは①湿地の周辺を好む植物に依存する甲虫（ヤナギチビタマムシ、アオカメノコハムシ）、②湿地特有の植物に依存する甲虫（ネクイハムシ類、ヒウラヒラタネクイハムシ、オオネクイハムシ、キヌツヤミズクサハムシ、シラハタネクイハムシ）、③開けた明るい環境を好む植物に依存している甲虫（フジハムシ、ヘリグロリングガミキリ）、④湿地を好む昆虫類（オオトックリゴミムシ）、⑤明るい池沼の周りをエサ資源の探索場所として利用している昆虫類（小型スズメバチ類）であった。これらの種について食草と生息地の環境に関して考察を行った。また土石流跡地については天然林内にできた新しいギャップと見ることができ、新たに生えてきたヤナギ類や開けた環境を移動場所として利用している甲虫類が見られた。



▲ヤナギチビタマムシ

総括

沼ノ平地域総合学術調査報告の総括
—自然攪乱と生物多様性、残された課題—

崎尾均（Botanical Academy・新潟大学佐渡自然共生科学センター）



▲調査風景（雨で増水した小さい三本沢の徒渉）



▲地すべりによる地表変動で傾いたブナ

今回の沼ノ平地域総合学術調査の目的は、沼ノ平における頻度の高い地形変動が植生遷移や生物多様性にどのような影響を与えているかを明らかにし、生態系の保護・保全とその持続可能な利用を図り、適切な管理方法を検討することであり、2017～2020年度までの4年間、49名を超える調査人員で様々な調査を行った。それによって沼ノ平の形成時期、地形変動や地表攪乱、生物相とその多様性、沼ノ平地域の保全の重要性について明らかになったとともに、以下の課題が残された。

- 今後の沼ノ平地域の取り扱い方針
- 利活用に関する取り扱い方針
- 動植物などの保護・保全
- 調査研究に関する取り扱い方針
- 只見ユネスコエコパークエリアの検討

本調査により沼ノ平の多様な立地環境と高い種多様性が維持されていることが明らかになった。このことは「自然首都・只見」の新たな価値・魅力となるものであり、人と自然との共生を目指す只見ユネスコエコパークの適切な管理・運営のための根拠となるものである。

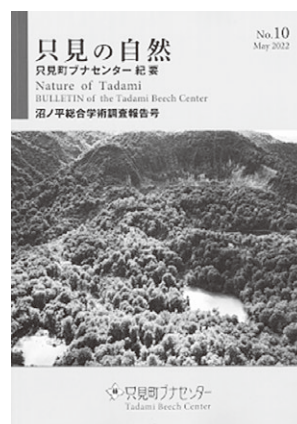
只見町の皆さんをはじめ、調査に協力・参加していただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

今回の調査結果については、『ブナセンター紀要 No.10「沼ノ平地域総合学術調査報告号』』としてまとめられています。

- ブナセンター紀要 No.10「沼ノ平地域総合学術調査報告号」
- 価格：3,000円／192p
- 販売場所：ただみ・ブナと川ミュージアム及びふるさと館田子倉

郵送でもご購入できます。只見町ブナセンターホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

問合せ先：只見町ブナセンター 電話：0241-72-8355
ブナセンターHP：http://www.tadami-buna.jp/





▲忌憚のないご意見ををお願いします

令和4年度の集落座談会が6月20日から始まりました。既に開催済みの集落につきましては、ご協力いただきありがとうございます。

今回の座談会は、昨年と同様にテーマや議題を設けずに、町政についての気になることや集落で抱える問題、世代ごとに抱える問題についてなど幅広く意見交換を行える場としています。

集落座談会は、8月末までに各集落（辞退した集落を除く）で開催します。いただいたご意見等につきましては、今後の町政執行の参考とさせていただきます。

町民の意見を町政に生かすために
「集落座談会」開催



▲ブレンドの異なるお茶を飲み比べました

「第1回ブナ林ブレンドワークショップ」（全3回予定）が、6月28日に開催されました。このワークショップは、町の木のブナや、共生するアブラチャンなどの機能性成分に着目し、それらの枝葉を活用した商品開発を目的としています。

参加者は、対象となる樹種の見分け方を現地で学んだ後、新潟大学山口智子准教授が数種類の葉を乾燥して作ったブナ林ブレンドのお茶を飲み比べました。

参加者は単一種やブレンドによって異なるお茶の味や香りを確認しました。

自然資源を活用した地域振興の取組み
「ブナ林ブレンドワークショップ」開催



▲子どもに関わる人材が少ない環境で、何を考える必要があるかをお話されました

菊池信太郎氏による講演会「只見町が子育て日本一になるまちづくり」が、7月15日に只見振興センターで開催されました。

菊池氏は、ご自身の取組みなどを交えながら、「福島の子育てのために、子どもたちを健やかに育む環境が大切。また子どもの成長には遊びが重要。子どもが元気な町、子どもに優しい町は高齢者にも優しい町である」と話し、只見町が目指すべき生育環境などについて講演しました。

只見町子育て講演会
「只見町が子育て日本一になるまちづくり」開催

さとう らん
佐藤 蘭さん (叶津)

きくち ゆりあ
菊地 ユリアさん (福井)

のなか ゆり
野中 悠理さん (福井)

すずき いと
鈴木 いとさん (只見)

虫歯の
ない子
(7月26日)
3歳児検診



水の流れを学ぶ

町内小学校「上下水道施設見学」

町内3小学校4年生の社会科授業で、各地区の浄水場や浄化センターの見学学習が行われました。(明和小7月1日、朝日小7月6日、只見小7月12日)

見学学習では、株式会社トーカンの皆さんや町の職員の解説で生活の中で使用されている水が「どこから、どのように来ているのか」や「使用した水がどのように処理されているのか」などを学びました。

児童は、「機械だけでなく、人の手がかかっていることや水をキレイにするお仕事があるから安心して水が飲めることが分かりました。将来、こういうお仕事に就きたい」と話しました。



▲解説を真剣に聞く只見小児童



▲汚水処理の仕組みを学ぶ朝日小児童



▲水の流れについて学ぶ明和小児童

本会開催に向けた協議が進められました

「ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 奥会津」 準備会開催



▲会議は奥会津ただみの森キャンプ場の古民家で行われました

「ブナ林と狩人の会：マタギサミット in 奥会津」の準備会が6月25日に、奥会津ただみの森・キャンプ場古民家で開催され、全国から関係者が参加しました。

会議ではマタギサミットの開催について協議が進められた他、秋田マタギと只見の交流の歴史、クマやシカ、イノシシの市街地への出没の問題、後継者育成などの意見交換が行われました。

なお、本会の「第33回マタギサミット」は来年6月に只見町で開催予定です。

災害から身を守るために

第2回「地域合同防災訓練」実施

「地域合同防災訓練」が、朝日小学校と只見中学校の主催で行われ、黒谷区の方や朝日小学校と只見中学校の児童生徒が参加しました。

地域合同防災訓練は、自分の命を守る方法を身に付けるとともに、助け合いながらお互いの安全を守る意識を高めることを目的としています。

訓練は、防災無線で避難指示の放送を流し、実際の避難の場面に近い形で行われました。避難訓練後、段ボールベッドの組立てや簡易担架の作り方などを体験したり、避難所の役割などの確認などを行いました。

参加者は「自然災害の怖さを改めて確認しました。今日の経験をいざという時に生かせるようにしたいです」と話しました。



▲応急処置を学ぶ生徒



▲簡易担架の作り方を学ぶ生徒



▲水害についての講話を聞く生徒

只見町河井継之助記念館 開館50周年

企画展「峠 最後のサムライ」



▲映画で使用された陣羽織などが展示されているブース

只見町河井継之助記念館は、開館50周年を記念した企画展「峠 最後のサムライ」を7月1日から開催しました。

展示ブースには、映画で使用された陣羽織や髪飾りの他、長岡藩士が使用したとされるミニエー銃などが展示されています。

記念館を訪れた人は、映画で使用された小道具や戊辰戦争で使用された道具などを間近で見ることができ、感動されている様子でした。

なお、企画展は11月20日まで開催されます。

地元企業の海外研修生と親睦を深める

第4回 国際文化交流会「ミニ運動会」開催

第4回国際文化交流会が6月25日に、明和自治振興会の主催で開催されました。交流会は、地元企業に勤める海外研修生と地元住民の交流を目的に開催しています。

交流会では「ミニ運動会」が行われ、海外研修生と地元住民の方など約70人が参加しました。

参加した海外研修生は、やったことのない競技に戸惑いも見られましたが、最後には企業も国籍も超えて全力で運動会を楽しみました。

参加者は、「みんなで一緒に楽しむことができました。来年も参加したい」と話しました。



▲かご役を追いかけ玉をいれる「玉入れ」



▲楽しい運動会となりました



▲みんなで会津磐梯山を踊り、交流を深めました

大人のためのSDGs講座

第1回「SDGsの基本理念を知ろう」開催



▲SDGs 17の目標をアイコンとあわせて確認しました

2030SDGsカードゲーム公認ファシリテーターの竹元紳一郎氏を講師に「大人のためのSDGs講座」が、7月7日に開催されました。

今回は、「SDGsの基本理念を知ろう」をテーマに、SDGs 17の目標について再確認したり、普段の行動が環境などにどのような影響をもたらすかを考えたりしました。

参加者は、「自分の行動が、巡り巡って環境や経済に何らかの影響をもたらすことを改めて確認できました」と話しました。

開通に向けて工事が進む現場を視察

「八十里越工事区間視察・体験ツアー」開催

国道289号八十里越の工事現場を見学する「八十里越工事区間視察・体験ツアー」が、7月17日に開催されました。

ツアーは、国土交通省職員の方から工事の進捗や工法についての解説を受けながら、高低差のある5号橋梁の工事現場など計4地点を見学しました。

また、車内では、五十嵐アツ子さんが八十里越の歴史についてガイドをし、参加者は八十里越の今と昔の両方を学ぶことができました。



▲工事中の橋を見上げる参加者



▲参加された皆さん



▲国土交通省の職員の解説を聞く参加者

大竹涼華さんが一日署長をつとめました

南会津警察署一日警察署長委嘱状交付式



▲委嘱をうけた大竹涼華さん（前列中央）

南会津警察署は、7月16日に只見町出身のシンガーソングライター大竹涼華さんへ一日署長を委嘱しました。委嘱状交付式は、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動初日に合わせて只見町役場で行われ、辺見孝行署長から大竹さんに委嘱状が手渡されました。

交付式終了後、大竹さんはパトカーに同乗し、町内の事業所で啓発活動を行い、町民の方へ交通事故防止を呼びかけました。

JR只見線全線運転再開に向けて 「只見線レールウォーク」開催

10月1日に全線運転再開を控えるJR只見線の線路内を歩くイベント「只見線レールウォーク」が7月17日に開催され、44人が参加しました。

参加者は、JR会津塩沢駅付近から第8只見川橋梁までの往復約500メートルを歩き、線路上からの景色などを満喫し、線路上を歩くという今だけしか体験できない貴重な時間を楽しみました。



▲線路上を歩く参加者



▲レールウォーク終了後には、参加された皆さんとキハちゃんできな撮影をしました

只見線沿線の自然を満喫 臨時列車「只見夏休み満喫号」入線



▲手を振ってお見送りをしました

臨時列車・快速「只見夏休み満喫号」が、7月16日、17日にJR只見線小出駅から只見駅間を運行しました。入線した車両は、GV-E400系と呼ばれる車両です。

JR只見駅前では、只見町インフォメーションセンターのスタッフや町職員が、乗客の皆さんにプナリングッズの配布やお出迎え・お見送り、観光案内などのおもてなしを行いました。

また、当日は田子倉レークビュー行きの観光タクシープランなどが運行され、只見町を訪れた皆さんは、只見町での時間も楽しみました。

広報ただみ診療所

带状疱疹の予防接種(シングリックス)をお勧めします！

わかやま たかし
朝日診療所 所長 若山 隆



今回は、带状疱疹という病気の予防接種についてお話させていただきます。

带状疱疹という病気はみなさんご存じでしょうか？皮膚にぼつぼつが带状にできて、痛くなる病気です。専門的にいうと、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる病気で、初感染では水疱瘡（みずぼうそう）になりますが、このときにウイルスが神経内で休眠・潜伏する状態となり、何らかの原因で免疫システムが不調をきたしたときに再活性化し神経から表皮に感染・発症します。ウイルスが神経に感染するので、带状疱疹を発症すると痛み（神経痛）がでます。これがやっかいで、場合によっては、ウイルスがいなくなって皮膚がきれいになったあとも神経痛だけが長引いて苦しむことがあります。ひどい場合は何年も神経痛が残存することもあります。加齢とともに罹りやすくなる病気でもあり、また神経痛も残りやすくなります。

この带状疱疹に有効な予防接種が現在2種類あります。表に比較を載せておきます。シングリックスというワクチンは、有効性が高く、効果も長く持続します。2回接種が必要で費用も合計5万円近くかかりますが、長引く神経痛で苦しまないで済むようにぜひご検討ください。接種をご希望の方は診療所（0241-84-2221）にお問い合わせください。

	弱毒生水痘ワクチン	シングリックス
発症予防効果	51%	90%以上
神経痛予防効果	67%	89%（70歳以上の方で）
効果持続期間	5～8年でほぼ消失	8年後でも84%の有効率
副反応	水痘様発疹（1～3%）	痛みなど局所反応（30～40%）
費用	1回接種 税込み9050円	2回接種 1回税込み24370円
対象者	50歳以上	50歳以上

地域おこし協力隊として Vol.92

はらなが まどか
只見町教育振興協力隊 原永 円香



はじめまして。4月からただみ・モノとくらしのミュージアムに学芸員として入職致しました。7月22日の開館に向けてこの4か月弱を慌ただしく過ごしておりました。引っ越してきた3月下旬は、まだ雪も残っていて、春とは思えぬほどの寒さに凍えていました。しかし、気が付けば汗ばむ季節になり、あっという間に開館を迎えてしまいました。私は埼玉県育ちで雪国での生活は初めてです。3月の中旬にミュージアムの会議のために只見町を訪れましたが、あまりの雪の量に驚きました。（これでも溶けてきたんだよという言葉にまた驚くこととなりますが。）今年は積雪の量が多かったこともあり、蔵が壊れるなどの被害を受けた家が多かったようで、4月から蔵を壊す前に収集できる民具がないか見てほしいと依頼をいくつも受けました。ただみ・モノとくらしのミュージアムは、「会津只見の正倉院」となるべく活動をスタートしたばかりです。奈良の正倉院のように末永く只見町の“宝”が保存活用されていくよう、私も頑張っていきたいと思っています。また、このミュージアムが町民の、そして来館されるすべての方の交流の場となるよう活動していきたいです。

只見町での暮らしは季節の移り変わりを自然や植物の変化によって感じる事ができるのが素敵だと思います。いずれ来る雪中の運転に怯えつつ、これからも楽しんでいきたいと思っています。勉強不足の点多々あるかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

みんなの只見線

未来をつくる先生

只見線地域コーディネーター

酒井 治子 さかい はるこ

試運転が始まる前日に、この文章を書いています。11年間客車が走らなかった会津川口―只見で、いよいよ明日から試運転の車両が走る姿を見られるのかと思うと、落ち着いていられません。

普段は町外で活動することが多く、只見線にかかわる活動では、千葉や東京などの首都圏から来られる方ともたくさん出会います。

只見線が本当に好きで通っている方が多く、その方たちは休みを調整して、自分が撮りたいもの、行きたい日に照準を合わせて行動しています。思うように撮影できなかったり、仕事で行けなかったりする日が続くと「禁断症状」が出て急に思い立って撮影に来

るといふ人もいます。では、地元にはそういう人はいないのでしょうか。実は、只見町にも只見線を応援している人がいます。今回は、子どもたちのことを紹介します。

現在、私は只見駅から16kmほど行った坂田区に住んでいます。布沢川流域で、全体で40軒ほどの世帯があり、その奥には布沢区があります。坂田・布沢で小学生がいる家は、私の家を含めて3軒です。

まず、坂田区に住む小学6年生と中学2年生の姉妹を紹介します。彼女らはお父さんの仕事をきっかけに、親子で只見線全36駅を自転車でする、という大変なプロジェクトに取り組んでいます。夏休みなどの長期休暇を利用し

て、只見駅からスタートして各駅を回ります。お姉さんが最初に挑戦し、妹さんがその翌年に挑戦。駅を回ることに写真が送られてきて、一緒にプロジェクトに参加しているような気分させてくれました。沿線の方々に企画を伝えると、列車の撮影の傍ら、自転車の親子を探して声をかけてくれる方もいました。

また、その姉妹は、只見線の車内でファッシュショーを企画し、大手の子どもも企画プロジェクトで優秀賞を受賞しました。2021年3月には只見駅のホームでファッシュショーを実現させました。

ランウェイに見立てた停車中の只見線車内で、プロのモデルさんと一緒に、かつては当

たり前に着られていた只見の仕事着を現代の洋服と組み合わせさせた衣装を着て、モデルウォークを披露してくれました。二人の堂々と、そしてイキイキとした姿を目の前にして、只見町に今あるものを素晴らしいと感じ、それを自分たちで発信する姿に感動しました。もう一人、布沢に住む男子のことを紹介します。

あるとき、私が車内案内の仕事のため、会津若松駅のホームで待っていると、あれ、見たことがある人だな？と見ると、私の子どもと同じ小学校に通う男の子とお母さんが立っていました。彼は小さいころから鉄道が大好きで、色々な車両が見られる会津若松駅には、時間を作って訪れているとお聞きしました。居間の一角は鉄道コーナーになっていて、彼は学校の自主学習で只見線の全線再開への思いを書いたり、私と同じよう

に手作りのデйкаウンター（只見線が全線再開する日まであと〇日、と数えるもの）を自宅にかざったり、只見線のオリジナル駅弁を考えたりしているそうです。私は、お母さんを介して、車両の写真やイベントの告知、只見線のテレビ放映のお知らせなどを伝えていきます。

自分で考え行動し、その楽しさや失敗を経て、また挑戦する。そんな子どもたちは、地域の未来をつくる先生だと思っています。



▲部屋に飾られていた手づくりのお祝いボード

只見短歌会 令和四年七月詠草

老の日のひと日を友と連れ立ちて出湯でなごみぬ心のままに
馬場 八智

コロナ禍で集ひも久し年なりに家事細々と皆を思ひつ
関谷登美子

お前には負けぬもの有り齡だと姑は我が背でくくと笑ひし
目黒 富子

窓の外飛びゐる蝶に幼な猫狙ひ定めて硝子に向かふ
新国由紀子

「お帰り」や「ただいま」などと隣人と交わす言葉に日々を楽しむ
渡部ヨリ子

一年と三年生の男の曾孫二人仲良くゲームを止めず
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 七月定例会

土を寄せちらちら白き豆の花
宵ながら里のしずけき月涼し
礼

紙おむつだけで駆け出す庭プール
トマト茄子曾孫のごはん招ばれけり
穂

濡れ土の新じゃが掘りて夕餉かな
夏空を背中一面追肥かな
修一

日に焼けた小童の明眸皓齒
立ち止まって見る只見線の炎暑
信

日高俊平太 指導

「ペダル踏めたよ」初夏の孫が来て
梅雨の月父のかたみのすずり箱
都

齒科院の小窓にせまる梅雨の雷
長湯して一人となりぬ誘蛾灯
味代子

灯籠に数珠つなぎかな子蟪螂
穴だらけ輪郭だけの酸葉かな
紺青



今月のお知らせ

試験

令和5年度社会福祉法人南会津会職員採用試験

〔採用予定職種及び採用予定人員〕

栄養士 1名

看護職員 2名程度

介護職員 5名程度

〔受験資格〕

①普通自動車一種免許取得者又は、

令和5年3月31日までに取得見込

②令和5年4月1日時点で60歳未満

③次の資格を有する、または令和5

年3月31日までに取得見込

・栄養士

・栄養士免許

・看護職員

・看護師又は准看護師免許

・介護職員

特になし

※ただし次に該当する者は受験できません。

①日本の国籍を有しない者

②禁固以上の刑に処せられた者

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議事事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

〔受付期間〕

令和4年9月16日(金)まで

〔試験日及び場所〕

○試験日時

令和4年10月2日(日)

午前9時30分から受付

試験の結果については、10月下旬

に本人に通知します。

○場所

南会津郡南会津町田島字後原甲3

586-11

南会津町田島あたご館

3F大ホール・研修室

〔試験方法〕

①作文試験

②面接試験

〔採用予定日〕

令和5年4月1日

〔申込用紙の交付及び請求〕

申込用紙は、南会津会の施設等で

交付します。なお、郵便により申込

用紙を請求する場合は、封筒の表に

「試験申込用紙請求」と朱書きし、

返信用の120円切手を同封し返信

先の住所等を明記のうえ、社会福祉

法人南会津会本部事務局へ請求して

ください。

○申込用紙交付施設等

社会福祉法人南会津会本部事務

局、各特別養護老人ホーム(下郷・

伊南・田島・南郷・只見・あさく

さホーム)、只見町介護老人保健

施設こぶし苑、南会津町館岩高齢

者生活福祉センター高夕

南会津会ホームページからもダウ

ンロードできます。

(<https://minamitadukai.or.jp>)

〔問合せ先〕

社会福祉法人南会津会本部事務局

南会津町永田字風下3-1

☎0241-63-1118

税 今月の納期

8月25日までに

納めましょう

●町県民税(2期)

●国民健康保険税(2期)

●農集排使用料(8月分)

●介護保険料(2期)

●後期高齢者保険料(1期)

などの応急手当講習が受講できます(要事前申込)。また、消防車両の展示や消火体験などのブースは当日来場者もご参加いただけます。ぜひご来場ください。

〔日時〕

令和4年9月11日(日)

〔会場〕

南会津町田島字西上川原乙65番地

南会津消防本部

〔講演・講習申込方法〕

参加される方の「氏名、年齢、連絡先」をFAX又はメールにてお知らせください。(様式は問いません)

○FAX

0241-63-3115

○メール

Fd-honbu-kyukyuu

@minamitazu-kouiki.jp

8月31日(水)まで

〔問合せ先〕

南会津地方広域市町村圏組合消防

本部 警防課 救急係

☎0241-63-3116

お知らせ

「第16回南会津救急フェア」開催

「第16回南会津救急フェア」を次のとおり開催します。当イベントでは、救急に関する講演や心肺蘇生法

町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆「ただみ・モノとくらしのミュージアム」が、お陰様で大倉地区にオープンいたしました。

昭和40年代から町民の皆様が、自らの幼いころの生活を振り返りながら収集・記録・整理等をなされたものが、国の重要有形民俗文化財に指定されたものです。

しかしながら、その後、公開できる施設の確保ができないまま時が経ち、このほどようやく地権者の皆様や多くの関係者の皆様のご理解とお力添えによってオープンに至ったものです。

一番見ていただきたい方々が、当時関わっていたいただいた町民の皆様ですが、残念ながらその多くの方々がお亡くなりになりました。そこで、せめてもの思いから正式オープンに先立ち、そのご家族様に内覧いただきました。式典の際には、改めて当時から携わってこられた町民の皆様、及び関係者の皆様に敬意を表するとともに感謝の言葉を申し上げます。

この数十年の時を経て竣工したミュージアムへ、皆様ぜひ足を運んで

◆ いただきたいと思えます。

日本ユネスコエコパークネットワーク会議の総会が、只見町で開催されました。

宮崎県綾町・静岡県静岡市・群馬県みなかみ町・長野県山ノ内町・石川県白山市等、そして文部科学省国際統括官付ユネスコ第三係からもお見えになりました。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン開催でしたが、今年度は感染予防対策を講じながら人数を限って開催いたしました。

協議の中で私は、自然保護・保全や学術調査等はもちろん大事ですが、移行地域と言われる里山のあり方への取り組みが、いよいよ大事になってきていると実感しました。

その一環として只見町では、薪エネルギーを推進しようとしています。これも単なるエネルギーの代替確保ではなく、いずれは里山整備に向かつての第一弾という位置づけです。

そして、来年度は只見町で熊やイノシシ等とどう向き合って共存していくかを考える全国マタギサミットが開催される予定です。

◆ 新型コロナウイルス感染症予防対策や暑さ対策など、日々ご苦労が多いこととございますが、くれぐれもご自愛ください。

町長スケジュール (7月分)

- 1日 只見特産(株)取締役会、二軒在家集落座談会
- 2日 沼ノ平総合学術調査報告会
- 4日 東北電力(株)福島支店長あいさつ来庁、会津総合開発協議会役員会（会津若松市）、只見集落座談会
- 5日 ただみ・モノとくらしのミュージアム館長（久野俊彦氏）辞令交付式、南会津地方町村議会議員大会、定例庁議、小林集落座談会
- 8日 南会津地方広域市町村圏組合管理者巡視（南会津郡内）
- 11日 国土交通省東北運輸局長他、只見線沿線自治体意見交換
- 12日 歌手 越尾さくら氏来庁
- 13日 ふくしまグリーン復興推進協議会総会及び越後三山只見国定公園編入にかかるシンポジウム（金山町）

- 14日 国道289号線建設期成同盟会 会長・副会長会議（東京都）、梁取集落座談会
- 15日 地域活性化企業人面談、只見町子育て講演会、塩ノ岐集落座談会
- 16日 夏の交通事故防止県民ぐるみ運動一日警察署長（大竹涼華氏）委嘱状交付式
- 19日 八十里越地点開発促進期成同盟会総会及び事業概要説明会、三条市内視察研修（～20日三条市）、黒谷集落座談会
- 21日 会津総合開発協議会本省庁等要望会（東京都）
- 22日 ただみ・モノとくらしのミュージアム開館式典、一般財団法人ふくしま市町村支援機構来庁、布沢集落座談会
- 25日 ブナセンター職員面談、楯戸集落座談会
- 26日 日本ユネスコエコパークネットワーク大会
- 27日 福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会総会
- 28日 JA会津よつばトップセールス（～29日 東京都）

町民の消息

(6月26日～7月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

鈴木 莉翔 (男/啓太・美希子) 只 見
 小林 燈矢 (男/克弥・彩) 只 見
 小西 花奈 (女/伸・梓之) 黒 谷

■おくやみ申し上げます

小 沼 善太郎 82歳 黒 谷
 長谷部 イセ子 92歳 叶 津



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和4年7月1日現在

人 口 3,844 (-13)
 男 1,898 (-2)
 女 1,946 (-11)
 世帯数 1,592 (-2)
 高齢化率 48.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 8 出生 1 死亡 9

▽ただみ・モノとくらしのミュージアムがオープンしました。昔の生活を支えていた民具を間近で見ただけでなく、触れられるコーナーもあり、子どもたちも楽しく文化や歴史を学べると思います。夏休みにぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

▽新型コロナウイルスが、全国的に再拡大しています。手洗いやうがい、マスクの正しい着用で、感染予防をしましょう。

▽また、こまめな水分補給で熱中症にもお気を付け下さい。

(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

明和振興センター
図書紹介

明和振興センター図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★赤と青とエスキース



青山美智子

(PHP研究所)

メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画」。日本へ渡って三十数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく。一枚の「絵画」をめぐる、五つの「愛」の物語。彼らの想いが繋がる時、驚くべき真実が現れる！仕掛けに満ちた傑作連作短篇。

★ごめんやさい



わたなべ あや

(ひかりのくに)

間違っただいこんちゃんの帽子をかぶってしまったなすちゃん、だいこんちゃんに「ごめんやさい」。言うのはなかなか勇気がいるけれど、「ごめんやさい」は仲直りできる魔法の言葉。

『ごめんやさい』が言える子に。子どもが素直に謝れるようになる絵本です！

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



ナツエビネ

(学名: *Calanthe puberula*)

(写真・文 太田祥作)

【ラン科エビネ属】



盛夏の頃、只見の森の林床にナツエビネというランが咲きます。

北海道から九州まで全国に分布するものの、いずれの地域においても稀で、只見町でもやはり滅多に見ることのできないランです。山地の湿り気のある、落葉広葉樹林の林床に生育します。多年草で、笹にも似て皺のある常緑の葉は通年見ることができます。盛夏になると、高さ20cm~40cmの花茎が立ち上がり、淡紫色の花を下から順に咲かせてゆきます。個々の花は竜の頭にも見える独特な形をしており、全体としては気品に溢れた、たいへん魅力のある花姿をしています。

ナツエビネは希少種で、最新版の環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類、ふくしまレッドリストでは絶滅危惧ⅠA類に選定されており、絶滅の危機に瀕しています。その減少要因は、かつてのエビネブームによる園芸目的の盗掘でした。多くのランと同様に本種もまた野生の株が売買されていますが、ブームが去った今、以前よりは森の中で出会う機会があります。これからも自生地でナツエビネ本来の花姿が観察できるよう、発見した際には写真を撮るだけに留め、生育場所などの情報は広めないよう、お願いいたします。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「只見のカエル」

会期：2022年6月11日(土)~2022年9月12日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー